

林業技術センター情報

平成21年度の業務概要と 移転について

技術支援部

はじめに

広島県では、選択と集中による明確な方向性を持った研究開発の推進と研究成果の早期発現を目指すため、「広島県立総合技術研究所」を設置し、研究課題に関しては、「産業活力の強化」を中心に研究業務の重点化を図っています。

今回は、林業技術センターが取り進む平成21年度の研究開発の概要と、平成21年4月1日からの事務所の移転について紹介します。

平成21年度の研究開発の概要

林業分野において、品目「スギ・ヒノキ」、技術領域「収穫」について重点研究分野が平成19年度から設定され、この重点分野の開発研究として平成20年度から、「低コスト林業団地」における効率的な路網計画策定技術の開発」に取り組んでいます。

また、平成21年3月には重点研究分野の見直しを行い、品目「木材・木製品製造業」、技術領域「木材加工技術（不燃化等高機能化）」が設定されました。

林業技術センターが平成21年度に実施する研究課題は、研究所の単独予算で実施する研究課題（表1）が1課題で、外部資金により実施する研究課題（表2）が、競争的研究資金2課題、受託研究3課題となっております。

簡単に各課題の概要を説明すると、次のとおりです。

【研究所単独予算】

①「低コスト林業団地」における効率的な路網計画策定技術の開発

低コスト団地内における路網計画策定のための経費・時間の大幅な削減と、崩れにくい適正な路線選定を目指し、重要立地要因の抽出・指標化による開設優先度（開設容易度・危険度）と高分解能衛星画像の解析による森林資源分布を統合させた路網計画策定システムを開発します。

【外部資金】

①信頼性強度設計理論による地域材利用新構造用材料の開発

地域材を従来材料より高い歩留まりで利用できるように、異材料、異樹種非等厚挽き板を複合して製造する新構造材料を開発し、開発した新材料の信頼性理論に基づく強度設計技術、及び接着耐性等に関わる製造工程管理技術を開発し、製造した新材料の耐久性・強度を実験的に検証するとともに、新構造用材料の規格化（日本農林規格）に備えます。

②ハイリスク港指定解除に向けたマイマイカ密度管理方法の開発

広島港など、日本の6箇所の貿易港周辺ではマイマイカの密度が高く、アメリカ合衆国とカナダ両政府から、2007

年にハイリスク港として指定され、これらの港からの貨物の輸出に障害をきたしています。そこで、ハイリスク港指定解除のためにマイマイガ防除対象地域の特定及び物理的防除技術の改善を行います。

③森林吸収源インベントリ情報整備事業

老朽化により供用廃止された木橋を当センター内に移設・再組み立てし、部

リ（目録）を提出する必要があるため、追加的バイオマスデータとしての土壌、リター、枯死木の炭素動態を推計するためのデータ収集・分析を行います。

④既存木橋の構造強度評価技術の開発及び検証

表1 研究所の単独予算で実施する研究課題

外部評価結果を踏まえ、事業効果が高く、研究成果の企業等への移転が十分見込める実用的な研究として、平成21年度は次の課題を実施します。

No.	種別	課題名	研究期間
1	継続	「低コスト団地」における効率的な路網計画策定技術の開発	H20-22

表2 外部資金により実施する研究課題

(1) 競争的研究資金

県の財政事情が厳しさを増している状況から、競争的資金などの外部資金の積極的な活用を図っています。

No.	課題名	研究資金事業名	実施年度
1	信頼性強度設計理論による地域材利用新構造用材料の開発	産学官連携による食料産業等活性化のための新技術開発事業（農林水産省）〈中核機関：中国木材㈱〉	H19-21
2	ハイリスク港指定解除に向けたマイマイカ密度管理方法の開発	平成20年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業（農林水産省）〈中核機関：(独)森林総合研究所〉	H20-22

(2) 受託研究

企業等からの受託研究についても、企業の技術的課題解決に向けた直接的な支援が行えることから、積極的な受託に努めています。

No.	課題名	委託元	実施年度
1	森林吸収源インベントリ情報整備事業	(独)森林総合研究所	H18-22
2	既存木橋の構造強度評価技術の開発及び検証	(独)森林総合研究所	H19-21
3	低コスト作業システム構築事業	(社)日本森林技術協会	H19-21
4	その他一般企業等からの受託研究		

材、接合部の強度試験結果と構造体への
 載荷・振動試験結果を併せて評価し、破
 壊試験で確認される残存強度を的確に推
 定する方法を確立します。

⑤ 低コスト作業システム構築事業

低コスト路網と低コスト作業システム
 モデルを現地で実証するモデル林を設定
 し、路網開設・高性能機械による作業に
 関するデータを収集・分析し、低コスト・
 高効率な作業システムの開発を行います。

林業技術センターの移転について

林業技術センターは、本館の老朽化な
 どにより、平成21年4月1日から「広島
 県三次庁舎」第1庁舎5階に移転しまし
 た。

元の施設は「林業技術センター三次高
 平施設」となり、本館・林業研修関連施
 設・森林資料館などは閉鎖しましたが、
 木材実験棟や林木育種関連施設など一部
 の施設は引き続き使用しています。

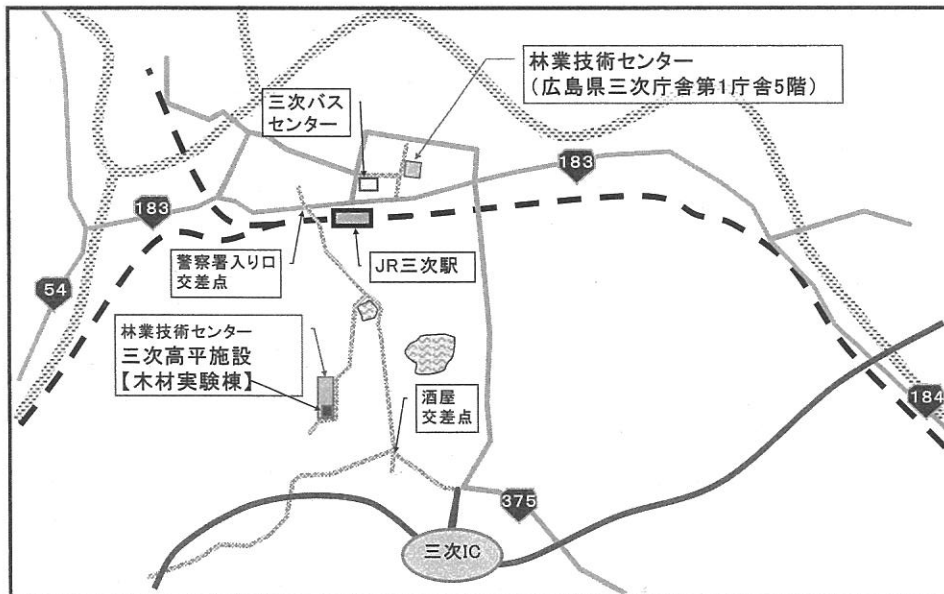
また、木材実験棟での設備利用・依頼
 試験の料金徴収や三次高平施設の管理な
 どを（財）広島県農林振興センターへ委
 託しました。委託先の職員が現地に駐在
 していますが、設備利用・依頼試験の申
 込、技術相談、三次高平施設に関する質
 問などにつきましては、従来どおり、林
 業技術センターまでご連絡ください。

移転に伴い、皆さまには何かとご不便
 をお掛けしますが、今後ともよろしくお
 願いします。

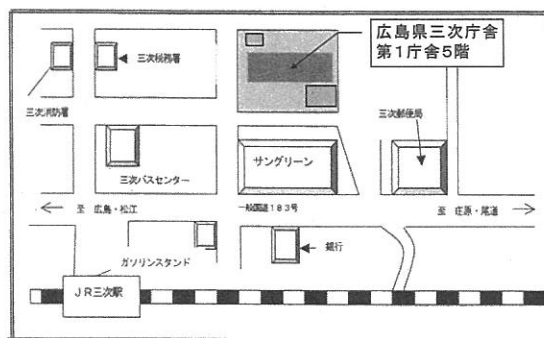
【新所在地・連絡先】

所在地 〒728-0013 三次市十日市東四丁目6-1 広島県三次庁舎
 電話 (0824) 63-5181 (代表)
 (0824) 63-0897 (技術相談専用)
 F A X (0824) 63-7103

広域案内図



林業技術センター（広島県三次庁舎）周辺案内図



三次高平施設案内図

